

早期発見がきめ手 ふえる成人病



なんと!

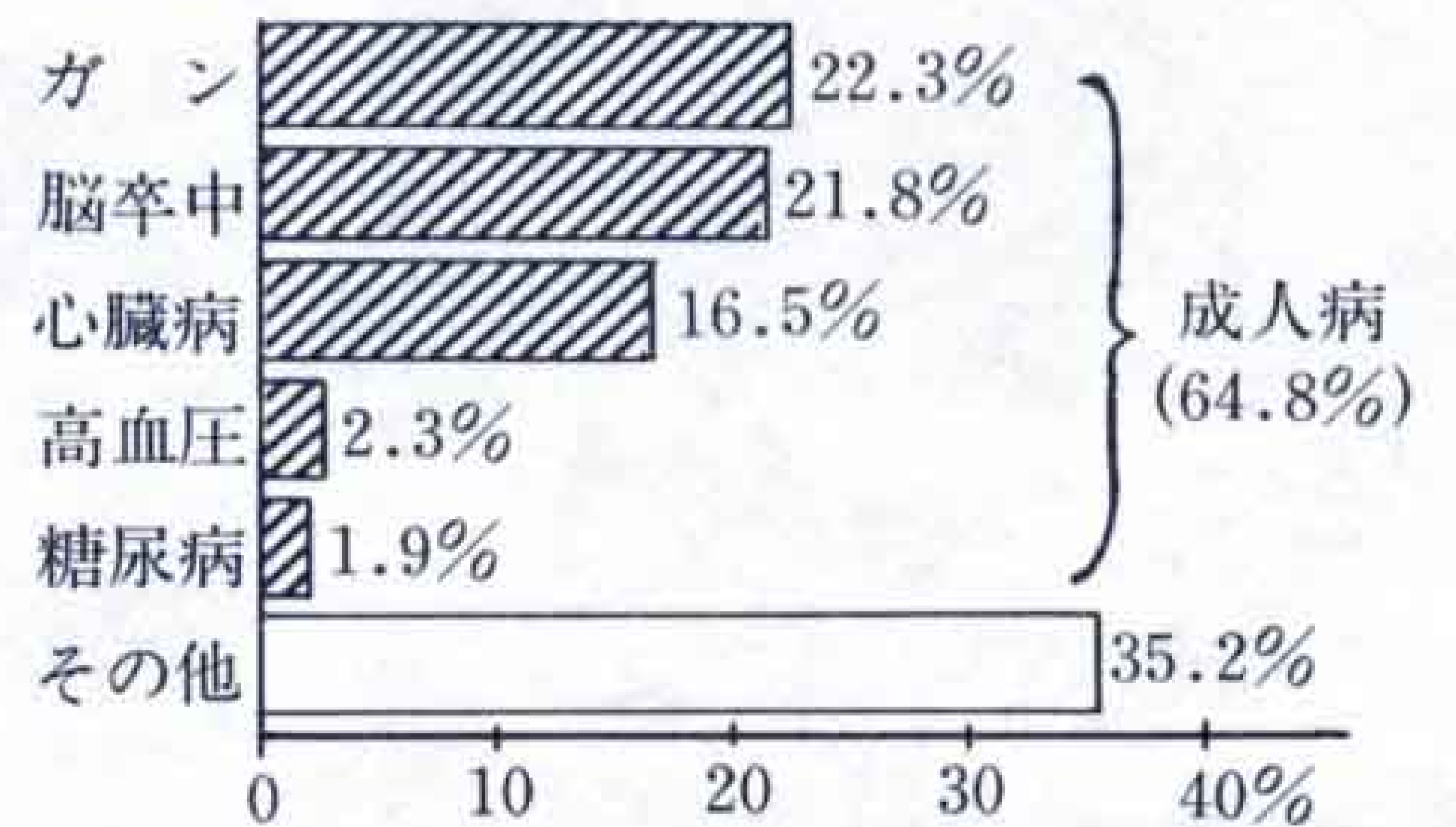
死亡者の六割も

日本人の平均寿命は、男七十三歳、女七十八歳。医学の発達と生活水準の上昇は、私たちの健康を守るとともに、大幅な平均寿命の伸びを示しました。

しかし、反面、年々増え続けているのが、ガン・脳卒中・心臓病などの成人病。成人病は、死亡者の六割をも占めています。成人病を防ぐには、早期発見と適正な健康管理が大切です。

市は、ガン検診、循環器検診、などを行い、成人病の早期発見と予防に努めています。そこで、今回は、成人病対策について考えてみました。

市内では100人のうち65人が成人病死亡者



(昭和55年富士保健所調べ)

1位だった脳卒中を抜きました。

ガンの中で一番多いのが胃ガンです。市内のガン死亡者の主な原因別割合は、胃ガンが29%、肝臓ガンが16%、肺ガンが9%です。このほか女性特有のガンとして多いのが、子宮ガンです。

ガンは初期の場合、すぐに痛い

ガン、脳卒中がトップ

成人病は慢性病の一種で、35歳すぎから65歳位までがかかりやすく、職場では働きざかり、家庭では一家の柱ともいべき人を襲うのでこわい病気です。

昨年、市内では、死亡者1,056人のうち、約65%にあたる686人が成人病で亡くなっています。その中でも多いのが、ガン、脳卒中、心臓病です。このほか、最近は糖尿病も増えてきました。

成人病は、若いときからすでに始まり、それが気がつかないうちに進

行します。そして、中年過ぎになってから表面化します。ですから、若いときから健康についての心がけと注意が大切です。

日本人に多い胃ガン

日本人は、4人に1人はガンで亡くなっています。特に、35歳から59歳までの働きざかりでは、死因の第1位を占めています。

市内でも昨年はガンが、死因の第

泣いています 須津川溪谷

ゴミは持ち帰って……



須津山荘



これから、本格的な秋の行楽シーズンを迎える須津川溪谷。須津川溪谷は、動・植物の種類も多く、県内でも有数の自然景観の良い所です。しかし、道路から一步踏み込むと、夏の行楽客の落し物がいっぱい。キャンプ・バーベキューのあとのゴミや空カン、仮設トイレの放置など……非常に汚れています。市環境保全課では、ゴミは必ず持ち帰るよう呼びかけています。